

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	長野県厚生農業協同組合連合会							
代表者名	氏名	社浦 康三	役職名	代表理事理事長				
主たる事務所の所在地	長野県長野市大字南長野北石堂町1177番地3							
主たる事業の分類	大分類	P 医療、福祉						
	中分類	8311 一般病院						
主たる事業の概要	医療・保健・福祉及びそれに附帯する事業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	26025	k1	その他ガス排出量合計	0	t-CO ₂	自動車の台数	576	台

2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	本所業務部業務施設課に問い合わせの上、回覧可能 回覧可能な時間：平日8:30～16:00 連絡先：026-236-2309
<input type="checkbox"/>	その他	

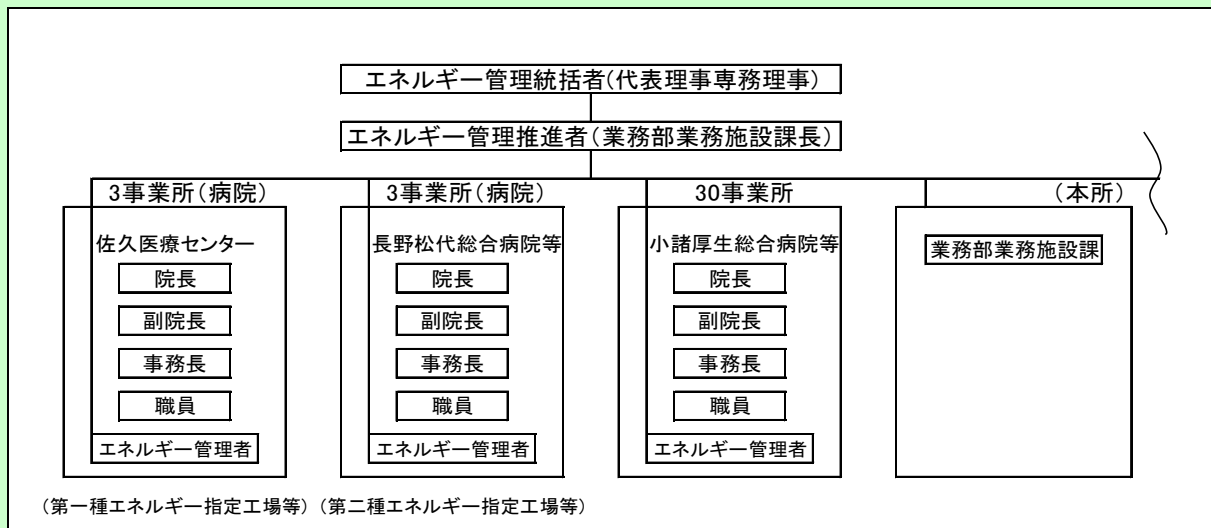
4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

「医療活動を通じ、組合員・地域住民のいのちと生きがいのある暮らしを守り、健康で豊かな地域づくりに貢献します」のJA長野厚生連理念のもとに、住民の命と環境を守り、生きがいのある暮らしが実現できるような地域づくりと医療・保健・福祉への貢献を目指します。

(具体的な方針)

- ・患者サービス・療養環境を低下させない。
- ・労働環境を低下させない。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



注釈

温暖化対策責任者：長野県厚生農業協同組合連合会 代表理事専務理事

温暖化対策担当者(個別票)：佐久総合病院 施設課

温暖化対策担当者(個別票)：佐久医療センター 業務部施設係

温暖化対策担当者(個別票)：南長野医療センター篠ノ井総合病院 施設課

温暖化対策担当者(個別票)：北アルプス医療センターあづみ病院 施設課

温暖化対策担当者(個別票)：長野松代総合病院 業務施設課

温暖化対策担当者(個別票)：北信総合病院 施設課

計画及び報告書提出担当者：本所 業務部 業務施設課

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	44,745	t-CO ₂	延床面積	3,418	単位	百㎡	
25年度	調整後排出量	37,634	t-CO ₂	基準原単位	13.09	t-CO ₂ /	百㎡	
目標年度	目標排出量	43,402	t-CO ₂	目標原単位	12.70	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%		
目標設定に関する説明	「排出抑制目標達成のための具体的な措置」を実施することで、年平均1%減の抑制目標を達成する。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	52,507	t-CO ₂	延床面積	3,841.00	単位	百㎡	
	調整後排出量	52,261	t-CO ₂	原単位	13.67	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
26年度	削減率	(17.35)	%	削減率	(4.44)	%		
排出量等の増減理由	佐久医療センターが開設し、他施設に比べ、大型医療機器台数が多く、稼働時間が長いこと、二酸化炭素排出量及び原単位が増加したため。 佐久医療センター：二酸化炭素原単位18.85t-CO ₂ /百㎡							
第二年度	排出量	54,282	t-CO ₂	延床面積	4,210.00	単位	百㎡	
	調整後排出量	54,094	t-CO ₂	原単位	12.89	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率	(21.32)	%	削減率	1.52	%		
排出量等の増減理由	篠ノ井総合病院の本館棟が新設され、排出量が増加したが、延床面積が増えたため、原単位が減少した。							
第三年度	排出量	54,308	t-CO ₂	延床面積	4,233.00	単位	百㎡	
	調整後排出量	54,048	t-CO ₂	原単位	12.83	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率	(21.38)	%	削減率	1.98	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	大型医療機器の稼働率が増加したため。							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
27年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
28年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	994	t-CO ₂			
26年度						
目標年度	目標排出量	964.105	t-CO ₂	削減率	3	%
28年度						
目標設定に関する説明	年平均1%減の抑制目標を達成する。					
第一年度	排出量	994	t-CO ₂	削減率	0	%
26年度						
排出量等の増減理由	平成26年度より燃料使用量等の定期的な把握を行っているため、基準排出量と第一年度の排出量が同量である。					
第二年度	排出量	1092	t-CO ₂	削減率	-9.86	%
27年度						
排出量等の増減理由	訪問看護車が昨年度より15台増えたため。					
第三年度	排出量	1112	t-CO ₂	削減率	-11.88	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	訪問看護車、送迎車が昨年度より14台増えたため。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握	未実施	第二年度	実施中	実施中	実施済	
	2	エコドライブの励行	実施中	第三年度	実施中	実施中	実施済	
III、IV	—	次世代自動車の導入	実施中	第三年度	実施中	実施中	実施中	特殊車両を除く

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	その他 佐久総合病院施設老朽化等による「再構築増改築工事」省エネ対策・省エネ設備等の整備確保	28	202		
2	エネ起	その他 北信総合病院施設老朽化等による「再構築増改築工事」省エネ対策・省エネ設備等の整備確保	28	108	28	20
3	エネ起	その他 篠ノ井総合病院施設老朽化等による「再構築増改築工事」省エネ対策・省エネ設備等の整備確保	28	108		
4	エネ起	その他 あづみ病院(安曇総合病院)施設老朽化等による「再構築増改築工事」省エネ対策・省エネ設備等の整備確保	28	90	27~28	90
5	エネ起	その他 富士見高原病院施設老朽化等による「再構築増改築工事」省エネ対策・省エネ設備等の整備確保	26	31	26	0
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽熱集熱パネル	枚	24	未定	24	24	24
チップボイラー	kW	0	未定	0	0	200
太陽光発電	kW	0	未定	0	0	100
太陽熱給湯	kW	0	未定	0	0	90

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	7111		246	188	260
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	7,801	1	9,391	2	15,743	2	15,621
1,500k1以上 3,000k1未満	3	13,753	4	19,086	4	17,722	4	17,587
1,500k1未満	31	23,191	33	24,030	31	20,816	32	21,100
合計	35	44,745	38	52,507	37	54,281	38	54,308

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	9	9	1	1
その他	8	8	8	7
合計	17	17	9	8
自動車総数	547	547	562	576
次世代車導入割合	3.1	3.1	1.6	1.4

様式1号
(総括票)

14 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

15 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	各事業所にて対策方針を決め実施中 (近距離通勤はノーマイカー促進、県下一斉ノーマイカー通勤ウィーク参加等)
公共交通機関の利用促進	各事業所にて対策方針を決め実施中 (電車、バス利用促進)
来客者の交通対策	各事業所にて対策方針を決め実施中 (敷地内及び近隣にバス停配備)
物流の合理化	特になし

16 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	Savic-netFX2 (篠ノ井総合病院)	2015
2		
3		

17 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	職員教育と啓蒙 ①パンフレットの配布等 ②事業所毎の勉強会等の実施と計画の作成 *具体的な対策は各事業所にて対策方針を決め実施中
第一年度実績	・省エネに関するセミナーへ参加 ・節電ポスターの掲載 ・省エネ担当者会議にて年間使用量等報告
第二年度実績	・省エネに関するセミナーへ参加 ・節電ポスターの掲載 ・省エネ担当者会議にて年間使用量等報告
第三年度実績	・省エネに関するセミナーへ参加 ・節電ポスターの掲載 ・省エネ担当者会議にて年間使用量等報告

18 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取り組み	佐久総合病院にて平成24年10月オフセットクレジット50トン購入	50
その他	計画的な保守点検、メンテナンスを実施し、効率的な機器の運転を行った。又、空調機における設定温度の管理を実施した。	